

看護実践到達度チェック表の運用手順

I. 目的

看護実践到達目標である3側面（1. 看護職員として必要な基本姿勢と態度 2. 技術的側面 3. 管理的側面）についての到達度を定期的に確認し、フィードバックを行い、新人看護職員が自信を持って日々の看護実践を行うために実施する。

II. 評価時期

①就職後、指示された月で達成度の確認を行う。

III. 評価者

自己チェック（新人指導者と共にフィードバックを行う）→主任（教育担当者）→部署長（師長）

IV. 評価方法

- ①「基本姿勢と態度」「管理的側面」は、チェック表に評価記入する。
- ②「技術的側面」については、「知識：eラーニング」と「技術」に分けてチェックできるように作成されている。技術経験時にその都度「チェック表」に記入する。
- ③評価は、新人指導者と共に実施し、目標に到達するよう各部署で計画的に進める。
（未経験技術を積極的に表現し達成に向けた努力を行う）
- ④各部署内での技術経験が困難な項目については、9月からローテーション研修において到達を目指す。

「基本姿勢」「管理的側面」記入の仕方

基本姿勢と態度		到達 レベル	5月		9月		2月	
分類	技術項目		自	他	自	他	自	他
a 看護職員としての 自覚と責任ある 行動	医療倫理・看護倫理に基づき患者の人権を尊重している	総合	II		I		I	
	患者の人権を尊重し、適切な言葉使いで会話ができる	I	II	II	I	I	I	I
	患者のプライバシーに配慮したケアができる		I	I	I	I	I	I
	すべての患者へ平等に接している		I	I	I	I	I	I
	看護行為が患者の生命を脅かすこともあるということを認識している	総合	II		II		I	
	MRM ニュースや医療安全情報を読んでいる	I	II	II	II	II	I	I
	未経験のケアや自信のないケアについて先輩に報告をしている		II	II	I	II	I	I
	受け持ち患者のケアについて責任を持っている		II	II	I	I	I	I
自分の失敗を人のせいせず、正直に報告している	I		I	I	I	I	I	

※ 「技術」のチェック見本は、別紙参照

